

プログラム *Programme*

花 (J. ケージ)

A Flower (J. Cage)

忘却の木の歌 (A. ヒナステラ/F. S. ヴァルデス)

Cabción al árbol del olvido (A. Ginastera / F.S. Valdés)

ラ・パロマ (S. ジラディエ)

La Paloma (S. Yradier)

ラ・クカラチャ (南米民謡)

La Cucaracha (Folksong mexicain)

「嘆きの天使」より

私は頭から足の先まで恋に向いている女 (F. ホーレンダー)

Ich bin von Kopf bis Fuss auf Liebe eingestellt <Der blaue Engel> (F. Holländer)

エンパイア劇場のディヴァ (エリック・サティ/D. ボノー、N. プレ)

La Diva de l'Empire (Erik Satie / D. Bonnaud, N. Brès)

聞かせてよ愛の言葉を (J. ルノワール)

Parlez-moi d'amour (J. Lenoir)

枯葉 (J. コスマ/J. プレヴェール)

Les Feuilles mortes (J. Kosma / J. Prévert)

愛の小径 (F. プーランク/J. アヌイ)

Les Chemins de l'amour (F. Poulenc / J. Anouilh)

すみれの花咲く頃 (F. ドエル/訳詞: 白井 鉄造)

Quand refloweront les lilas blancs (F. Doelle)

鈴懸の径 (灰田 有紀彦/佐伯 孝夫)

森の小径 (灰田 春彦/佐伯 孝夫)

夜来香 (黎 錦光/遠藤 栄一)

白い花の咲く頃 (田村 しげる/寺尾 智沙)

浜辺の歌 (成田 為三/林 古溪)

みかんの花咲く丘 (海沼 実/加藤 省吾)

出船 (杉山 長谷夫/勝田 香月)

待ちぼうけ (山田 耕祐/北原 白秋)

与那国の子猫 (金井 喜久子/編作曲)

この道 (山田 耕祐/北原 白秋)

霧と話した (中田 喜直/鎌田 忠良)

モーツァルトの子守歌 (W. A. モーツァルト/訳詞: 堀内 敬三)

中国地方の子守歌 (日本古謡) ~編曲: 山田 耕祐~

てまり歌 (松島 つね/武内 俊子)

18の春を迎えたすばらしい寡婦 (J. ケージ/J. ジョイス)

The wonderful widow of eighteen springs (J. Cage / J. Joyce)

都合により、曲目が変更する場合がございます。予めご了承ください。

奈良 ゆみ / ソプラノ *Yumi Nara, soprano*



Photo: Brigitte Enguérand

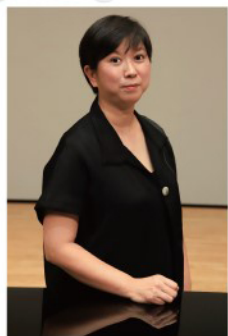
相愛大学卒業後、仏政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学びメシアンに注目される。以後パリを拠点とし欧州各地で演奏活動を展開。デュサパン、エロワ、ダオ、平義久、松平頼則などの現代作曲家に作品を捧げられ数多くの初演を行う。

メシアン『ハラウィ』をはじめ、シェーンベルク『月に憑かれたピエロ』、オハナ『三つの御花(オハナ)の物語』、中世から現代作品まで・アカペラで綴った『ソロ・ヴォイス』などが高い評価を受ける。また仏政府文化省の派遣により、サティ、フランス六人組、ラヴェルなどの演奏を東欧、ロシアにて数多く行っている。さらに、西鶴の『好色一代女』のテキストを使ったジャン・クロード・エロワの作品『仏明会』や、松平頼則のモノオペラ『源氏物語』の歌い手として、日本の音楽・文化が西洋の現代音楽と結びつく可能性を明示した。パリで開催されたメシアン生誕百年記念オープニング・コンサートでは『ミのための詩』を歌った。(Pf: R. ムラロ)

日本では、ドビュッシー『ペレアスとメリザンド』(フルネ指揮、東京都交響楽団)、プーランク『人間の声』(ワッセルマン演出、Pf: 寺嶋陸也)、松平頼則作曲、箕田ヨシ演出『葵の上』他、2001年より大阪モーツァルト・サロンで『フランス歌曲全貌シリーズ』(Pf: 谷口敦子)を中心にクリエイティブなテーマでリサイタルが催されている。

CD 録音も数多く、ヨーロッパでリリースされた『ドビュッシー歌曲集』(Pf: C. ラヴォワ) <Cypres> は仏音楽誌 (Le Monde de la Musique) に最高推薦盤に挙げられ、メシアン『ハラウィ』(Pf: J. ゴットリーブ) は『メシアン全集』<Deutsche Grammophon> に収められている。2022年『祝祭の夜-サティとフランス六人組』(八木清市演出、Pf: 寺嶋陸也) 公演で大阪文化祭受賞。

渡具知 愛 / ピアノ *Ai Toguchi, piano*



東京音楽大学器楽専攻(ピアノ)出身。これまでに故、大宜見良子、川上昌裕、三浦捷子各氏に師事。

2009年、奈良ゆみのてだこホールでの公演の折に準備のための伴奏を受け持ったことがきっかけで、以来ジェイ・ゴットリーブやモニク・ブーヴェ (元パリ国立高等音楽院教授、パリ国立オペラ座コレパティトゥア)のレッスンを定期的に受けている。その後、奈良ゆみとは、2011年に宮古島にて『沖縄の歌、フランスの歌』、2017年にはてだこホールにて『愛の歌-オリヴィエ・メシアン、松平頼則』、てんぶす館、東京王子ホールにて、宮古島出身の作曲家、金井喜久子を含む『歌、太陽のように、明治、大正、昭和に凛々しく生きた日本の女性作曲家を歌う』、2022年、『祝祭の夜-サティとフランス六人組』をパレット市民劇場にて演奏している。

現在、MUSIC STUDIO 森ピアノ講師。

県内で活躍するピアニストの新垣正太、池田育代、亀山孝文各氏と共に「ヨニングミ」を結成。

■会場アクセス■

アイム・ユニバース てだこホール 小ホール

沖縄県浦添市仲間1丁目9番3号

TEL: 098 - 942 - 4360

▼モノレールをご利用の場合

- ・『浦添前田駅』下車 徒歩20分(タクシー・バス[56番]で5分)

▼バスをご利用の場合

- ・バス停『美術館前』
那覇バスターミナル発 55番 牧港線、56番 浦添線
馬天営業所発 91番・191番 城間線
- ・バス停『太平』『浅野浦』
那覇バスターミナル発 21番 新都心具志川線
88番 宜野湾線、90番 知花線
98番 琉大線、112番 国体道路線
- 那覇空港発 190番 知花空港線